2024年度第1回教育課程編成委員会議事録

（観光科・テーマパーク科・鉄道科・ホテル科・ブライダル科・エアライン科・デュアル科）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 2024年9月3日(火)  13:00～15:30 | 場所 | Nタワー1階  バンケット実習室 | 進行 | 湊 | 記録 | 立石 |
| 出  席者 | |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 企業名・団体名 | 名前（敬称略） | 分科会 | | 1 | 一般社団法人日本旅行業協会  千葉支部千葉県地区委員会 | 武笠 克彦 | 観光・鉄道 | | 2 | 東武鉄道 株式会社 | 遠藤 陽平 | 観光・鉄道 | | 3 | T-LIFEパートナーズ 株式会社 | 酒井 大之 | 観光・鉄道 | | 4 | 株式会社 旅行綜研 | 石井 光彦 | 観光・鉄道 | | 5 | 一般社団法人 地域未来企画 | 室田 伸一 | 観光・鉄道 | | 6 | イオンモールキッズドリーム合同会社 | 折原 恭子 | テーマパーク | | 7 | 株式会社ジャッツ 成田空港事務所 | 鈴木 繁 | エアライン | | 8 | 一般財団法人 成田国際空港振興協会 | 長森 克子 | エアライン | | 9 | 株式会社 エコーパートナーズ | 松井 哲至 | エアライン | | 10 | 公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 | 佐々木 貴夫 | ブライダル | | 11 | ホテルニューオータニ幕張 | 風間　昭彦 | ホテル | | 12 | 株式会社 オータパブリケイションズ | 山下 裕乃 | ホテル・ブライダル | | 13 |  | 牧野 一 | ホテル |   学校側11名  向山、古川、北、小川、冨澤、湊、石神、立石、大久保、塚本、栁堀 | | | | | | |
| 議  事  録 | **【全体会】13:00～14:00**  ●事業本部長挨拶、校長挨拶  　・昨年度の矢口より本部長、校長がそれぞれ変更となった  　・現場のスペシャリストである皆様より忌憚のない意見を頂戴したい  24年度上半期　各企業様の現状と最新情報について  ●観光業全体（武笠様）  ・国内旅行及び国内の宿泊は夏休みの旅行者数が約680万人、前年比約96％程度、平均単価が  4万2000円で対前年ほぼ100％、理由として物価高、インバウンドの影響でホテル代が高騰。  ・コロナの収束により旅行への意欲が一定程度落ち着き、昨年よりは減少傾向、単価はそのままだが、  物価が上がっており旅行日数・行き先が変わってきている。  ・海外旅行に関して、1～7月累計で約680万人、2019年比で61％まで回復、7月後半からの  オリンピック、円安に大きく影響している。  ・訪日外国人旅行は非常に好調を維持。3月以降、単月で 300万人で過去最高を続けており、1～6月  上期の累計で1770万人、今年の予測は3470万人程度。国別では、韓国・中国・台湾の順で中国は  徐々に回復傾向、さらに訪日外国人は増えるのではないかという予測。  ・旅行の問い合わせは昨年の秋以降に増加、ただし、観光業界全体として人材不足、特にバスドライバー  不足の影響で地方のバス確保が困難。  旅行会社の人材も不足し、カウンター店舗の閉鎖、ウェブ販売の強化している。  ●旅行・人材派遣業務（石井様）  ・海外旅行は2018年の6割くらいの戻り具合。  ・夏には留学が復活しており、異文化・語学研修など短期留学が多く見受けられた。  ・日本近海や韓国・済州・台湾へのクルーズが非常に盛んである。  ・インバウンドは盛況だが、逆に国内旅行、日本人が旅行単価の値上がりにより旅行に行かない傾向。  冬に向け、ヨーロッパ等の旅行商品が求めやすく海外が戻ってくるような予感がする。  ・全体で見るとコロナ前の8割ぐらい回復し、あと2割をどう獲得していくかが課題。  ●教育旅行（酒井様）  ・概ね公立では沖縄や京都、九州中心の修学旅行を実施しているが、オーバーツーリズムが課題。  ・インバウンド外国人と被って、貸切バスの確保が難しい。観光バスはあるが、人材不足で出せない。  ・旅行会社でも人材不足と、さらに旅行費用の高騰が問題。1番は国交省での上限額・下限額の改定で  バス代が上がっている。  ・短期旅行を実施。京都旅行だが、清水も伏見も見学せず、琵琶湖装置の研究をするような形の教育旅  行が増えてきた。  ●旅行業界（室田様）  ・観光産業全体で22兆円の市場規模がある産業で、まだ6割という認識でおります。海外旅行と国内  旅行を分けると、海外旅行が5割で国内旅行が8割程度の戻り具合。  ・観光人材が不足し目指す人たちも減っている中で、業界全体がもう少し価値のある仕事をしていく  方向にしないと業界から離れていくと思う。  ・留学生がサービス業、観光業を学ぶ学生が増えているので、学校との連携、会社の中での事業形態を  見直していかないといけないのかなと思っている。  ●鉄道業界（遠藤様）  ・コロナが5類に移行して昨年度から回復傾向が続いている。  ・業界として人口が減少しており、鉄道事業定期収入は減少傾向で、定期外収入を上げていく方向性。  ・鉄道事業以外では生体認証ビジネスがあり、今後は生体認証で決済できるようなサービスを展開して  いる。  ・採用関係でも人材不足が深刻。通常運行を保ちながら、事業を継続していくかを検討中。また外国籍  人材の活用も、特定技能制度で鉄道産業が認定をされているが業界的には様子見の状態。  特に 技術系の分野で線路や車両のメンテナンスの人材採用が問題である。  ●空港センディング業務（鈴木様）  ・コロナ前は、日本人団体旅行客のお手伝いが8割の仕事だったが、コロナ後は、インバウンド業務が  全体の9割で日本人の団体旅行客は戻ってない。とはいえ航空座席はほぼ日本人で満席であり、  日本人の旅行需要は一定数いるというのを感じた。  ・成田空港のお盆の時期に構内が渋滞し、渋滞に巻き込まれて飛行機に乗り遅れたり、インバウンドの  ハイヤーが渋滞に巻き込まれて空港につけないような事案が発生した。  ・日本人はまだまだ戻ってきていないが、インバウンドについては成田空港、ビジネス需要の便は羽田に  シフトしている。ツーリストの方が成田空港の方が多く、日本語より外国語を聞く機会の方が多い。  インバウンド客の意見としては、日本へ旅行に来て日本人が対応をしてくれることが嬉しいので、ホスピ  タリティを発揮して業界を盛り上げていただきたいと思っている。  ●グランドハンドリング、グランドスタッフ業務（松井様）  ・重複してしまうが、お客様は戻ってきている。7月だけで外国籍のお客様が1922万人来ており、過去  最高を更新。インバウンドの影響が大きいと感じている。  ・LCC（航空会社）のお客様の層が、外国籍のお客様が多く半分以上が外国籍のお客様で、カウンター  で対応するが、英語、場合によっては中国語で対応している。  ・採用についてはグランドハンドリング部門とグランドスタッフ部門で二極化されている。  グランドスタッフはお客様と応対する分野で、そちらの方はだいぶ人気は戻ってきていると感じる。内定  承諾率が大体35％ぐらいでだいぶ上振れしている印象。  ・グランドハンドリングは実際に飛行機を誘導したりする仕事だが、人気ないと感じている。  ・大手企業に対して人材不足の影響があり窓口を広げているが、スキルがある社員が成田空港で、  人の動きが、活発化されている。今後の方針としてはキャリアプラン、育成プランなどの構築をしてきたが現場を回せるようなやり方、仕組みを今後考えていかなきゃいけないのが課題。  ●空港インフォメーション業務（永森様）  ・昨年度に人材採用に苦労している話をしたが、昨年の下期から募集に手を上がる状況で、今年度初め  には当初予定していた人材確保できた。ただ、その中で、様々な国籍の方が手を挙げてくれるが、中国  語、韓国語を話せるのは非常にありがたいが、業務上日本語のスキルを外国籍の方に求めている。  入社してからも語学の部分をレベルアップしていくのは、本人たちにも負担がかかるので、 採用につい  ては慎重に見ていきたい。また長く職場で働くために、契約社員を職員にして、より安心感を持って会社  で働いてもらえるよう改善に取り組んでいる。  ・9月、10月と繁忙期となり、お客様が多く大変だと言うスタッフもいたが、なんとか乗り越えた。シルバ  ーウィーク、国慶節の繁忙期で、旅客案内の増員体制を 組む計画もある。それに向けて皆でミーティン  グ時間を作ったり、スキルアップの時間を作ったり、手話検定を受ける等のモチベーションアップにも今  年度は力を入れていきたい。  ●テーマパーク業界（折原様）  ・カンドゥーがちょうど10周年を迎える。コロナ禍もあり大変だったが、お客様数も戻ってきてる実感が  ある。コロナの時に千葉の修学旅行が他県に行けない分、関東に来てくれて助けられたが、今は他から  少しずつ修学旅行も戻ってきている。今年度に関して2019年比でお客様数も毎月超えている状態で、  安定的な稼働ができている。  ・課題は機械ではなくスタッフが子供相手に一緒に体験してもらうため、人の育成が大変で、アルバイト  学生が多い分、卒業してしまう4月、5月、6月にスタッフがいない状況。その中で人の集め方とか育て方を考えていかないといけない。  ●ホテル業界（舞浜）　（牧野様）  ・4月、5月、6月、7月と過去最高をほぼ更新してきた。昨年までと違うのは、インバウンドの方が増えて  いる。一部ホテルだけにはなるが、コロナ前までは大体1％以下だったインバウンドのお客様が10％に  なっている。他のホテルの中で3割を超えるインバウンド比率のホテルもある。8月は猛暑の影響があり少し落としたが、それでも99％に近い稼働である。  ホテルの課題としては人材不足というところがある。サービススタッフについては、現状困ることはないが  客室清掃の方がいなくて客室をチェックインの時間まであげられないというような事態にも数日陥った。  学校からも数名採用したが、応募数自体が半分ぐらいになっており、非常に厳しい現状である。  ●ホテル業界（幕張）　（風間様）  　・私達は近秋で31年を迎えており、老朽化からメンテナンスと人材育成に問題を抱えている。  　・個人宿泊の需要について昨年度はコロナ明けで良かったが、この4月からは若干落とし気味で全体の  96％ぐらいにはなるが、ビジネス利用やインバウンドのお客様が110％ぐらいまで伸長しているため、  稼働自体は昨年よりも非常に良い。  ・人材不足に苦労しており、客室清掃について、良い状態でのサービス提供が苦戦をしてる。特に人材  育成に苦戦している。  ・ホテル全体として、一般宴会・大型宴席などがあり、6月の時には約50名の学生に手伝ってもらえて  感謝している。この先、大型宴席の時は御校と連携を取りながら、ぜひ力を貸してもらえると非常に助かる  なと思う中、宴会ビジネスは好調をキープしている。  　・新卒の採用に関しても、人手不足はあるが千葉には人が集まりづらく新卒採用も苦戦をしている。  　来年度の求める人数に足りていないので、もし何かあればお声かけいただけると嬉しく思う。  その分の補填という形ではないが、昨年まではあまり考えていなかった、外国籍の採用も活発化した。  この4月から13名ほど活躍しているスタッフもいて、外国人の採用を積極的に行っている。  ●ブライダル業界（佐々木様）  　・コロナ禍で約3年間思い通りに結婚式ができないという時期が続いていたが2023年から結婚式を  普通にできる状況になった。ただし、組数は戻りつつあるが、出席される人数がコロナ前に比べて10名  程人数が減っており、売上が満たないという状況にある。  ・コロナ禍で若い方々が結婚式に出たことがない人が増えており、結婚式に出ると結婚式良いなとなる  けど、その経験がないから結婚そのものに踏み切れない方々も増えてるのではないか。  ・昨年、婚姻届出数が47万組ということで、戦後最低の数字になっており、このダウントレンドが止まら  ない状況で結婚する方が減っている。そうすると出生率も減るので、学生も減ってくるという危機感を  抱いている。  ・人材不足という観点では、人材育成委員会の中でもう少し業界と学校の関係を密にしようということ  で、中に学校部会というものを新たに立ち上げ、専門学校や大学の会員の方々にメンバーに迎え、会場  と学校のその連携をもう少し深めようというのを今年の6月からスタートさせた。なかなか業界として、  こう採用で受け入れる思いと学校が育てて送り出す思いが合致しないというのがあるので、お互い協力  しながら優秀な人材を育てて送り込み、業界として活用していくということを少しやっていきたい。  専門学校生の離職率の高さが非常に今課題になっているので、その辺も貢献できるよう学校部会を  立ち上げている。また、最近課題に思っているのは、高校の卒業生のうち通信制を卒業する方が10人に  1人ぐらいという時代になっており、専門学校や大学に入ってコミュニケーションという面で学校側が  苦労し、ホスピタリティ業界に就職をするということが出ているので取り組んでいきたい。  ●ホテル・ブライダル業界（山下様）  　・人手不足が課題とされているが、中には人手不足ではないホテル・ブライダル施設もある。実際、人材に  困ってないところもあり、人を大切にしているというのが1つのキーワードになってくる。それから、客室に  ついても清掃会社とのコミュニケーションを取りながら、どうやったらお客様を待たせずに客室に送り  込むことができるかということを努力している企業もある。  ・ウェディングについて、これまでの旅館ウエディングの考え方は、チェックアウト後のアイドルタイムで  結婚式をするという発想があったが、夕食をそのまま結婚式にしよういうような考え方に変えると、普通  の夕食が披露宴という形になってくる。そして、1泊2日もしくは2泊3日の旅館ウェディング、そして  その温泉地に泊まり、そこを拠点に滞在して各地区回るようなケースもある。  ・旅館でのウエディングについては、外国人新郎新婦も増えており、インスタグラムで情報を見て、神社  で結婚式を挙げるような場合、語学力が必要だがサービスタッフだけではなくヘアメイクの人や、  フラワーアレンジメントの方、カメラマンなどがコミュニケーションのために語学力も磨いていくと良いかと  思う。  ・ホテルの法人宴会については、スタッフのエンゲージメント力を上げていく、コミュニケーション力を  上げていくための宴会を3か月に1回ぐらい行っておりケータリング会社に依頼をしているため、その  ままでいるとケータリング業態に持ってかれてしまうのではないのかと危惧している。  ・海外の方には日本人の謙虚さ、ある程度の距離感があって優しいという日本の文化を良いと感じて  いるので、もう一度、日本人というものの良さがあるということを、学生に伝えていければ良いと思う。  以上をもって全体会を閉会した。  **【分科会】14:10～15:30**  【分科会】観光科、鉄道科  進行：立石が分科会を開会。  1. 2024年度の現状報告  ＜観光科＞  【カリキュラム】  ・24年度より『トラベル・アウトドアコース』へと変更し、後期授業から『アウトドア実務』を実施。  亀山温泉ホテル　豊島様に授業を依頼、9月と1月に現地学習も実施する。  【学生】  ・年初在籍および進級学生数　1年生9名（変更なし）　　2年生5名（変更なし）  【行事】  ・9月　上総亀山宿泊研修（グランピング施設体験　対象：1年生9名）  ・9月　ツーリズムEXPO 業界招待日参加（対象：1.2年生）  ・2月　観光地研修（東武鉄道+日光、対象：1年生）  【検定】  ・6月実施　国内地理検定受験　1年生1名初級受験（任） 1名合格、2年生0名受験  ・9月実施　国内旅行業務取扱管理者　1年生6名（任）.2年生5名（必）受験  ・12月予定　世界遺産検定　1年生9名必修  ・2月予定　アマデウスシステム検定　1年生9名必修  ＜鉄道科＞  【学生】  ・年初在籍　1年生19名　　2年生22名（変更なし）  後期進級　1年生18名（1名休学：入学式のみ参加後登校せず、休学し25年度1年生で仕切り直し）  【行事】  ・5月　千葉都市モノレールの見学(1年生18名参加)  ・8月　小湊鐡道トロッコ列車 車内販売実施（1年生18名実施）　2年生1名が引率。  ・8月　京成電鉄 宗吾参道車両基地見学。  ・9月　東京メトロ 研修センター見学予定。  ・9月　ツーリズムEXPO 業界招待日参加（対象：1.2年生）  ・2月　観光地研修（東武鉄道+日光、対象：1年生）  　【検定】  ・6月実施　国内地理検定受験　1年生3名受験（任）　0名合格  ・9月予定　国内旅行業務取扱管理者　1年生3名（任）.2年生22名（必）受験  2. 就職活動状況について  ・観光科　5名在籍中　５名内定　内定率　100%  　　→旅行関連1名、空港関連1名、鉄道関連3名で内定。  （東海旅客鉄道、千葉都市モノレール、東武エンジニアリング、京成トラベル、サンコーエアセルテック）  ・鉄道科　22名在籍中　19名内定　内定率　86.3％  　　→鉄道関連17名、空港関連1名、バス会社1名で内定。  （東武ステーションサービス5名、東武エンジニアリング2名、千葉都市モノレール1名、東京地下鉄2名、  東急電鉄1名、JR北海道1名、東葉高速鉄道1名、京葉臨海鉄道3名、日本貨物鉄道1名、  神奈川中央交通1名、日本空港サービス1名）  ・残った学生も就職活動は行っており、引き続き指導していく。  現在の観光・鉄道科や業界の問題点と現状  ［武笠様］  観光科の学生が旅行会社を目指さなくなっている印象。人材不足は変わらずあるという中で、どうしても、他社さんも含めて採用の中心が大卒であるというのが現状。  ［酒井様］  コロナで観光科の学生数が減ったが、今後の回復に期待。以前御校から弊社に入社してくれた学生も現場で大活躍をしてくれているので、また復活してくれると嬉しい。  ［室田様］  大学でも観光志望者が減少したが、回復傾向にある。  旅行会社の役割は縮小し、旅行のクリエイティブな部分が重要に。  学科名を「国際観光」などに変え、実践的な学びを明示すべきでは。  留学生との合同授業は、自然な国際交流の場になる。  ［立石］  東武グループには採用の面で大変お世話になったが、今後の鉄道業界に必要な人材について、今後の採用で強化されていく部分などあるか。  ［遠藤様］  鉄道業界は人材不足が深刻で、勤務形態が敬遠される要因。  メンタルケアや自己理解を促す教育を行っていただけると助かる。  ［立石］  大学生の採用もあるとは思いのですが、専門学生に求めるものはありますか？  ［遠藤様］  専門学生は業界理解が深く、即戦力として期待している。  地域振興や駅を拠点とした提案活動が活発化しているのでこのような部分も授業に取り入れていただきたい。  技術系授業の導入は非常にありがたい。  3．25年度カリキュラム内容について  ・24年度については90分授業に移行される。  それに伴い、科目及び内容を精査・変更。（別紙、履修科目一覧を参照）  【観光科新科目】  24年度から実施するアウトドア実務は継続しつつ、インバウンド旅行客を意識した内容を追加  「外客接遇」1年次前期・・・海外からのお客様に対応すべく、海外文化やプロトコル等を学ぶ  「Global Communication」2年次前、後期・・・ネイティブとの対話を増やし、観光案内や英語を話す  「観光業演習」2年次前、後期・・・接客や添乗などを実践する授業として設定。  「観光総合プランニング」1年後期～2年後期・・・団体旅行から個人旅行まで企画立案、実施まで行う。  【鉄道科新科目】  　今までの授業から大きく変更せず、新たに「整備」を意識した授業を実施予定。  「鉄道の技術と仕組み（仮）」1年後期・・・東急ﾃｸﾉｼｽﾃﾑ様による授業。現在企業と調整中。  ［武笠様］  今、旅行業界も、地域誘客や地方創生の視点が重要。  ［立石］  その他何取り入れた方が良いものなどはあるか。  ［武笠様］  アウトドアは面白いと思う。グランピング施設など千葉の地域資源を活かした尖った授業も良いかと思われる。また留学生との交流授業は副産物的な効果が大きいと期待、授業に取り入れてみては。  ［立石］  留学生と一緒に運営するにあたっての一番の問題は日本語力。  お互いの理解するスピードの違いがある。例えば、ディスカッションのようなものであればよいかも。  ［遠藤様］  この度50分授業から90分授業に変更をしたという経緯ってどういった理由なのか。  ［北］  授業運営の効率化のため、50分授業から90分授業へ移行。  科目数を整理し、よりスマートなカリキュラムを目指す。  4．その他  　講師及び企業連携に伴う授業の展開についての依頼  以上をもって分科会を閉会した。  【分科会】テーマパーク科  進行：石神が分科会を開会。  １、司会進行：石神前回の振返り  石神 ：口頭にて全体会での話の共有    石神　：夏季の集客状況,企業としての動きに関して  大塚様：海外のお客様の内７～８割が香港。残りが台湾系のお客様の来園が続いている  　　　　鈴鹿が地方都市にある為日本を好きな海外の旅行客が何度も日本に来られて中で鈴鹿を利用  し始めている傾向があり香港からのお客様が増えてきているのかと思う。  　　　　お客様の動きがなかなかなかったがプール営業は盛況であった。  石神　：人員の確保に関してはどうか  大塚様：募集をかけると多くの募集がある。倍率で言うと約２倍ほど。  石神　：人員の確保に関してはどうか  折原様：人員の入れ替えがあり、スタッフ間でも空気がとてもよくなってきたように感じる。  ただ、注意の仕方や話し方をお子様のみではなくスタッフにも同じような対応が  必要に感じる時がある。育成前に優しさを感じ取れる教育を心掛けるようにしている。  ２、今年度　夏季実習に関して  大塚様  石神　：実習生に関しての状況などの共有  大塚様：熱い中走り抜いてもらえてよかったように感じる。  　　　　当校の学生に関しては他学校に比べ一番の成長を感じた。  　　　　 実習生３名には本当に助けてもらえた印象。  石神　：どのような人材が来てくれると助かるか  大塚様：学生たちにはいろいろな経験をしてもらえればと考えている為  特に要望はない。  ただ、学校を背負って実習に来ているということを忘れないように実習先に来てもらえるように  していただきたい。  折原様  石神　：実習生に関しての状況などの共有  折原様：実習に来た学生が２名で常に行動しているような印象だった。  　　　　 研修では問題なく働けるように感じていたが、実習となると話は変わり何度か話をすることが必要に感じた。又話す場所,内容に関して注意をすることが多く最後まで実習を続いていけるか不安だったが、何とかやり切れた印象。  カリキュラムに関して  ・新カリキュラム『SNSマーケティング』入学～卒業まで  SNS関連の基礎知識から学科情報発信などを行っている。現2年生より実施。現在フォロワー264名。  昨年入学者16名から30名前後になる見込み。  石神　：PCやデジタル要素は必要か  折原様：デジタル要素を使えるということが強みになるかと思うが、  アルバイトではなく社員になると使えるものが多くある方がいいかと思う。  大塚様：社員になるとPCは必須かと感じる。  　　　　 海外のお客様も翻訳アプリを使いチケットの購入をしてくれているので  　　　　 英語も話せるに越したことはないかと思う。  ・新年度よりダンス専攻開始。2年間で156時間を通常の授業104時間に加えて実施する。  石神より口頭にて説明。  以上をもって分科会を閉会した。  【分科会】ホテル科・ブライダル科・デュアル科  進行：小川が分科会を開会。  1. 2024年度カリキュラムの現状報告と2025年度カリキュラムについて  2025年度より、50分授業から90分授業に移行。  ＜ホテル科＞　大久保  【授業科目】  ・24年度授業科目の大幅変更なし  ・24年度より2コース編成の名称変更。  　　　24年度：国際ホテル科（ホテルコース39名/英語コース2名）  【行事】  ・6月に1年生全員参加で幕張メッセでの大型ケータリングに参加した。  　　　　※夏期実習前の実務経験としていい経験となり満足度も高かった。  ・夏期実習：7/22～9/2  ・リゾートホテル視察（軽井沢方面）（11月/1泊2日））  ・冬期実習：ホテルコース：（12～1月）  ・海外インターンシップ：国際ホテルコース＠オーストラリア（12～1月）  ・海外研修　グアム（12月/3泊5日）  ・カクテルコンペティション（2月）    【検定】  ・メンズスタイルアップ検定を男性学生に任意受検として21名中11名の受検10名合格。  　※昨年の必須受検合格率35％から大幅アップ。  ・セルフメイクメイク検定：H1女子全員合格  ・ホテル実務技能認定試験（7月）：初級　39名受験/35名合格　合格率90％  ・TOEICは、年度内に2回以上の受験を推奨して多くの学生が受験して平均点も上がっている。  　※英語に対してのモチベーションが高い学生が多く授業外での課題を行う学生が多い。  　※来年度もレベルの低い学生に対して引き続き工夫をする。  【英語コースについて】2024年度より  ・レベル分け英語クラス(3クラス)のAクラスを対象とする。  ・英語を生かして仕事したい・外資系ホテル希望の学生が対象。  ・英文履歴書対策講座(英語面接対策)、イングリッシュコミュニケーション(ネイティブ職員対応)、  おもてなしイングリッシュ(日本文化を英語で伝える)を新規科目として導入予定。    【クラス運営】  ・1年生のモチベーションが高く、自ら進んで行動できる学生が多く検定の受験率が例年より高くなった  ・２年生の早期就職内定したことにより授業意欲低下・出席率低下がみえたので就職後に役に立つことをテーマにして運営をシフトチェンジ  　【募集】  ・ホテル（ブライダル）見学会  　　6月/ホテルニューオータニ幕張  ⇒高校2年生を含めたホテル業をあまり知らない層をターゲットに行い、満足度の高いイベントとなった。  　　12月/成田エリア→佐倉・成田・茨城エリアをターゲット  　⇒ホテル・ブライダル・エアライン3科合同見学会を実施予定  風間氏　業界的に人手不足が進む中、外国人を積極的に採用するようになっているが学園内では留学生と日本人学生との交流はあるか  大久保　学園祭などの行事や部活動などでの交流はあるが授業などではない  風間氏・牧野氏　コミュニケーション能力の向上を図るために積極的に交流を図るべき  大久保　人の育て方　Z世代の育て方というキーワードが全体会議中出ていましたが、その点で人材育成や離職をさせないように心掛けていることをお教えください  牧野氏　企業として世界的に多様性を認め始めているため、社内としても多様性を認め、身だしなみの基  準を下げるように意向している。  学校指導として、身だしなみに対しての基準が下がっているので在学中にお客さんの立場に立  って身だしなみの大切さを気づかせてほしい  　塚本：ブライダル科  【授業科目】  　・2024年度授業科目の大幅な変更はなし。  　・「イベントプロモーション」  　　　1年生：6月に校内にて模擬挙式を実施。  総論で挙式の知識を学びつつ、並行して実践することができた。  2年生：1/19リアルウエディング  　　 企業連携により外部会場（アニヴェルセル柏）にて実施予定。  【研修/行事】  ・4月/オリエンテーション（ザ・サーフ オーシャンテラス）  ・5月/神社視察（乃木神社/乃木會館）  　・7月/ステイマナー研修(浦安ブライトンホテル東京ベイ1泊2日)  　　ゲストハウス、神社、ホテルを視察させていただくことで、視野が広がる良い機会になった。  　　卒業生と在校生のつながりも作ることができた。  　・11月/リゾートウエディング視察（軽井沢方面/1年1泊2日・2年2泊3日）  　・1月/リアルウエディング（アニヴェルセル柏）  　・2月/ブライダル見学会  【実習】  　・2025年度より、1年生後期の土日にブライダル企業での企業実習を実施予定。(授業は週4日制)  　　2024年度は、ホテルorブライダル企業の選択制で実施を試みた。  【検定】  　 ・ドレスコーディネーター検定　9名受検/5名合格　合格率55.5%（前年度：76.5%）  　 ・ライフケアカラー検定（色彩学）　44名受検/27名合格　合格率61.3%（前年度：90％）  　 ・パーソナルカラー検定3級　9名受検/9名合格　合格率100％（前年度：94.4%）  　 ・秘書検定3級　42名受検/33名合格　合格率78％（前年度：81.2%）  　 　※2級　5名受検/5名合格  塚本　　　　パソコンスキルはどの程度まで業界で必要なのか  佐々木氏　社会人としてプレゼンができるようにパワーポイントの知識を付けてほしい  山下氏　　パソコンスキルはそこまで求められていないがアプリなどの研究をして、アプリを駆使してお客様とのコミュニケーションなどに活用にしてほしい  ビジネスコミュニケーションにプラスしてコミュニケーション力をしっかりとつけることを社会人準備として学んでほしい  佐々木氏　Ｚ世代の次の世代が次の高校生となる。これから高校を卒業する学生の考え方、価値観が異なっている。そこに対応できるようなセミナーの実施をする予定なので先生方も参加いただきたい。  風間氏　 サービスをメインをすることなどは、高いパソコンスキルは求められてはいない。  牧野氏　 プレゼンテーションをする際にパワーポイントが使用できるようにしてほしい。  栁堀：夜間部ホテル・ブライダル科  　【授業科目】  ・2024年度授業科目の大幅な変更はなし。  ・夜間部　ホテル・ブライダル科／デュアル科　ホテル・ブライダルコース　２科運営  ※今年度は1年生（7名）・2年生（18名）共に選択ができる学科として運用。  1年後期選択では4科目ホテル科・ブライダル科・ハイブリットにて選択を行うことができた。  2年次より90分授業への対応となるため、ホテル科・ブライダル科の選択となる。  2年生は2年間選択を行ったことによって、より興味高く授業への取り組みが見えた。  【研修/行事】  ・オリエンテーション＆ステイマナー（TDR）４月実施  ・リゾートホテル視察（軽井沢方面）（11月/1泊2日））  【検定】・ユニバーサルマナー検定【６月１６日】　６/７　85.7％（前年度：95.2%）  ・ホテル実務技能認定試験(初級) 【７月８日】　12/12　100％（前年度：100%）  ・HRS検定：23年度8名中4名　【合格者3名/受験者4名】  ・ドレスコーディネーター検定　5名受検/4名合格　合格率80%（前年度：受験者なし）  ※検定取得に対して意欲的な学生が見られた為、後期も検定実施を積極的に促進したため、昨年度より限定をした検定以外にも幅広く検定の取得を行った学生が多くみられた。  【実習】  ・入学者7名ホテル紹介制度を使用。内1名GWを利用しリゾートアルバイトへ参加。  柳堀　　　今年度４０代の方から入学の相談を受けることがあるが、企業として受け入れは可能なのか  牧野氏　本来であれば４０代の年齢に合った収入を提供が必要となるが、専門学校の卒業ということで新卒採用と同等の対応となってくるためにお給料面で受け入れていただければ採用は問題ない。  2. 就職活動状況について  　小川：就職  　　　2025年卒　（8月末現在）  ・ホテル　　 科　　　　　　51名在籍中　　48名内定　内定率　94.1%  ・ブライダル科　　　　　　55名在籍中　　44名内定　内定率　80.0％  ・夜間部ホテル科　　　　18名在籍中　　 12名内定　内定率　66.7％    アフターコロナ、インバウンド需要の拡大、ホテル開業等、企業様側から日本人学生の需要が高く、  採用における売り手市場の状況にある。  都心には寮を備えた企業が減少しており、自宅から通勤できる立地にある企業を希望する学生が多く  反面、沖縄リゾートでは個室寮に社員食堂1日2食無料等、待遇面での差別化を図り、  新卒採用、中途採用訴求に繫げられている。  従来の先決内定、承諾もなくなり（一部の企業ではＳ求人有）専門学生でも1社2社と  内定を頂ける状況で就職活動を進めております。近年ライフスタイルホテルの台頭により  （身だしなみの自由度や多様性の認められる職場環境）学生の嗜好性にも変化が見受けられる。  ブライダル業界は売り手市場の環境下にも関わらず、採用枠を大幅に増やす企業は  ごく少数の状況。25年新卒もゲストハウス系企業は特に人気があり大学生と競合、  また採用枠に対しての応募数が多く採用活動に苦労する学生が多い印象。  そのような中で映像・音響系や少規模運営の企業を志望する学生が増え価値観の多様性が  見受けられた就職活動であった。  牧野氏　２年生になると出席率が下がる理由はなにかあるのか  塚本　　就職活動が終えると、気が抜け学校生活をより楽しむ傾向にあるため出席率が下がってしまうのではないかと考えられる  大久保　半数は気が緩んでしまい夜更かしなどの理由で出席率に影響となってしまうのではと考えられるため、専門学校教育として２年時は特に就職するためだけではなく社会人になった後の即戦力として必要になることに重点を置き従来とは違う共通認識で行っていく  進行小川により閉会  【分科会】エアライン科  進行：湊が分科会を開会。  1．就職状況について  湊  24年度エアライン科2年生　13名在籍中　12名内定（内定率92.3％）  未内定者1名についても現在（9/3現在）就職活動中。  早期就業について、今年度は学生の希望を聞いてくださる企業が多く、開始時期が分散した。  外国籍やハーフの学生は英語が得意でも日本語力に不安があり、就職が困難である。  松井氏  　 外国籍の社員は日本語の会話力はあるが、読み書きやテクニカルな言語は苦手。  　 外国籍社員が非常に多い企業は研修期間が短く、座学で教えるというより現場で先輩を後ろから  見ながら覚えさせている。  長森氏  　　外見は外国人だが日本で生まれ育ち日本語力に全く問題のない社員がいる。日本人社員と2人で  カウンターに入っていると、日本人のお客様は行列になっていても日本人スタッフの方に並んでしまう。  結果、その社員は傷ついてしまっている。  2．2025年度入学生カリキュラムについて  湊  25年度も24年度と同様に2コース編成（キャビンアテンダント／エアポート）  25年度から90分授業となり、科目数が減少する。  航空業界に関する知識やスキルは年々変化しているため、改めてどのような科目を入れる必要が  あるかご意見を頂きたい。  松井氏  　　1年生の早い時期に空港のGS/GH以外の職業を知ることが出来る内容。  　　6名程度の少人数であれば、ユニバーサル業務など受け入れのできる機会も多い。  湊 センディング業務も選択肢としてあるか。  鈴木氏  　センディング業務は減少しているため、それ専属とはならない。ミート業務も空港から交通機関で一緒に  　移動してホテルまで送り届けることもあり、語学力を必要とする。  3．エアライン業界の現状  　　航空業界全体が人手不足。  　　成田国際空港、東京国際空港（羽田）共に、特に人手不足となっており、特に地上作業員（グラハン）の人手不足が顕著。  　　一方、エアライン科入学生は20年度（入学者数40名）を境に減少傾向。  　　人手不足解消の手立てとエアライン業界の魅力付けを産学連携で取り組んでいきたい。  進行：湊が分科会を閉会した。 | | | | | | |

2024年度第2回教育課程編成委員会議事録

（観光科・テーマパーク科・鉄道科・ホテル科・ブライダル科・エアライン科・デュアル科）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 2025年2月26日(水)  13:00～15:30 | 場所 | Nタワー1階  バンケット実習室 | 進行 | 湊 | 記録 | 大久保 |
| 出  席者 | |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 企業名・団体名 | 名前（敬称略） | 分科会 | | 1 | 一般社団法人日本旅行業協会  千葉支部千葉県地区委員会 | 武笠 克彦 | 観光・鉄道 | | 2 | 東武鉄道 株式会社 | 遠藤 陽平 | 観光・鉄道 | | 3 | T-LIFEパートナーズ 株式会社 | 酒井 大之 | 観光・鉄道 | | 4 | 一般社団法人 地域未来企画 | 室田 伸一 | 観光・鉄道 | | 5 | イオンモールキッズドリーム合同会社 | 折原 恭子 | テーマパーク | | 6 | 株式会社ジャッツ 成田空港事務所 | 鈴木 繁 | エアライン | | 7 | 一般財団法人 成田国際空港振興協会 | 長森 克子 | エアライン | | 8 | 株式会社 エコーパートナーズ | 松井 哲至 | エアライン | | 9 | 公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 | 佐々木 貴夫 | ブライダル | | 10 | ホテルニューオータニ幕張 | 風間　昭彦 | ホテル | | 11 |  | 牧野 一 | ホテル |   学校側12名  向山、古川、北、小川、冨澤、湊、石神、桒原、立石、大久保、塚本、栁堀 | | | | | | |
| 議  事  録 | **【全体会】13:00～14:00**  ●校長挨拶  ・来週5校合同の卒業式/当校：234名  ・次年度入学生　日本人　留学生  ・次年度50分授業から90分授業に変更  ・GW頃新校舎完成予定  ●観光業界（武笠様）  24年の振り返り  ・観光業では24年は訪日客が好調だった。  　12か月中8か月で300万人超え/年間での訪日外国人数過去最高となった  ・国内日本人は102％の微増  ・物価高・円安の影響で海外旅行客が伸び悩んでいる  25年度の展望  ・国内イベント・沖縄の新テーマパークなどの影響で活発化が予想され旅行業は追い風となる  （大阪万博・瀬月内国際芸術祭・世界陸上・沖縄ジャングリア）  ・海外旅行客は円安の影響で低迷していて、さらにアジアが中心だったがハワイ・アメリカ・ヨーロッパなども視野に入る予想  ・訪日客は昨年より増の過去最高水準になる予想（4000万人超）  ・日本政府が2030年には3000万人目標を掲げているが現実的な数字となってきている  ・観光業界全体を盛り上げるため、賃上げ・ドライバー補充の計画がある  ●ブライダル業界25年度の展望（佐々木様）  ・ホテル雅叙園の解約の報道あり/オーナー変更による  ・九州/アルカディア/事業停止  ・50年まえより出生率が1/3により結婚式の数も激減して厳しいマーケットとなっている  ・婚礼件数はコロナ前に戻ってきているが1組あたりの人数は減っている  ただし、1名当たりの単価は上がっている  ・新しい結婚のスタイルを考える必要がある（若者の多様性を受け入れる）  ・人材育成/BC検定を中心に活性化を考え若手の定着を図る  ・インバウンドのウエディング誘致を考えている/地方自治体と連携  ・東京都が結婚応援プロジェクトを発足  ●25年度の取り組み、ご予定等  東武鉄道 株式会社 遠藤 陽平  ・コロナの影響は戻ってきているとはいえ、まだ影響があるので鉄道事業の他に非鉄道事業にも取り組んでいる  ・人材確保に関しては今まで以上に力を入れていきたい  ・人だけでは賄えないマーケットになってきているので少人化にも取り組んでいる  T-LIFEパートナーズ 株式会社 酒井 大之  ・日本私学旅行/学校の旅行に力を入れている  ・沖縄など運賃の高騰で行き先を変更するケースが多くみられる  ・東京都葛飾区立修学旅行費無償化（上限80, 000円）  ・修学旅行先・　中学校：京都/大阪/東京　　・高校：沖縄/東京/千葉  ・若者のパスポート取得率が日本は諸外国に比べて低い  一般社団法人 地域未来企画 室田 伸一  ・旅行：単価が上がっている　（コロナ前より1.7倍）  ・観光が地域経済を支えているとして多岐にわたり活動をしている  ・観光産業は地域活性を担う役割をしているとして、人材採用にもミスマッチが無いようにしている  イオンモールキッズドリーム合同会社 折原 恭子  ・テーマパーク業界は年度、過去最高来場者数  ・室内施設の年始は閑散/子供のインフルエンザ・雪が多かった影響があるかも  ・接客スキル（子供に対して）を挙げることで事業拡大を図る  株式会社ジャッツ 成田空港事務所 鈴木 繁  ・コロナ前は9割がアウトバンドだったが現状は9割がインバンドに変わった  ・日本語・英語のほか、中国・スペイン語などを必要となった  ・英語以外のネイティブ採用も進んでいる  一般財団法人 成田国際空港振興協会 長森 克子  ・成田空港旅客数コロナ前90％　　※外国人利用者120％　日本人利用者50％  ・乗り遅れ客の対応なども増えてきている  ・お客様増えることで救急搬送/通訳業務などが増えている  ・来年度は手話検定に力を入れインフォメーション業務をする  株式会社 エコーパートナーズ 松井 哲至  ・国内線でも半分以上が外国籍のお客様  ※今年度は南半球（オーストラリア・ニュージーランド）の外国人が多くスキーなどのウインタースポーツ目的が多い  ・チェックインなどはデジタル化が進み必要人数が50人から30人に減った（グランドスタッフ業務）  ・今後は留学生の採用が増えていく予想　※留学生採用/23年度：23％　24年度35％  ホテルニューオータニ幕張 風間　昭彦  ・コロナ前の収益を超えて好調  ・昨年は宴会がコロナの影響があったがインバウンドの数が多く宿泊が好調だった（過去最高）  ・昨年以上に単価向上に力を入れる  ・インバウンド富裕層などをターゲットに食に力を入れて運営する（語学・サービス・若手育成などを含む）  向山  ・26年度/中村学園は過去最高予定（2060名在籍）  ・夜間部/26年度は停止  ・26年度テーマパーク科/エンターテインメントダンス科募集開始  ・6号館/新設について　GW頃受け渡し予定  ・ホスピタリティホールに150インチモニター設置  ・エアライン実習/フライトInfo設置  ・ホテル実習室/ホテルシステム導入  以上をもって全体会を閉会した。  **【分科会】14:10～15:30**  【分科会】観光科、鉄道科  進行：立石が分科会を開会。  学生数報告　24年度  観光科　1年生：9名／2年生：5名　計14名  鉄道科　1年生：18名／2年生：22名　計40名  1．24年度振り返り  　・学生生活の状況  　　一部学生において出席率が危うい学生がいたが、概ね順調に生活していた。昨年よりも観光科の  学生が多かったためか、クラス内でそれぞれの学科で行動することが多く、お互いに協力したり  交流する機会が少なかったように感じた。  　・検定試験の状況  　　サービス介助士（観光　6/6名　合格率100％、鉄道：14/16名　合格率87.5％）  　　AMADEUS　9/9名（観光科　9/9名　合格率100％）  　　その他　世界遺産検定（3月に受験予定）、秘書検定など  　　自主的にチャレンジする意思が少なく、新たに挑戦するような学生も少なかった。  　　こちらからも働きかけたが、あまり変化はなかった。  2．2025年度入学生について  　・観光科トラベル・アウトドアコース（Ｊ）⇒　入学者数　3名  　・鉄道科鉄道交通サービスコース（Ｒ）⇒　入学者数　13名  　・新たなカリキュラム  『外客接遇（観光科のみ）』⇒インバウンドを意識して、各国の国柄や情勢、プロトコール等を学ぶ  『サービス接遇（観光･鉄道）』⇒業界で必要としている検定がなくなっているため追加  『鉄道の技術と仕組み』⇒鉄道系の整備に関する授業、東急ﾃｸﾉｼｽﾃﾑ㈱へ依頼し講師派遣してもらう  <カリキュラムについてのご意見>  武笠様：国内旅行業務取扱管理者に関連する授業は何が入っているのか。  立石：地理分野で「国内観光資源」、業法などは「旅行業法・旅行業約款」、国内実務は「JR運賃・料  　　　金」と「国内旅行実務」が該当している。現状は2年次に受験し合格を目指すカリキュラムに  なっているが、想定とは違い、2年生の合格率が高くない。原因として就職活動等が終了してい  るから、検定に対して必死さはなくなっていると感じる。  武笠様：旅行会社としては必須の検定ではないが、学生数が少ない中でのカリキュラム運営は大変だと  　　　思う。  立石：昨今では、鉄道業界の方が管理者の有無を気にされることが多いため、鉄道科と一緒に授業を  行うようにしている。  遠藤様：実際の業務で使用するというより、運賃料金の計算が出来る事であったり学生として勉強した  　　　証として分かりやすいものになっているかと思う。  武笠様：鉄道業界としても、地域との交流や企画旅行を作成するために必要な場合もあるかと思う。  冨澤：千葉都市モノレール様でも、総合職の場合には国内管理者保持者を希望されたり、千葉駅の  　　　改札でも管理表に取得者を載せており、卒業生が管理者として登録されていたりする。  酒井様：「外客接遇」を座学で勉強するより、せっかく留学生がいるのであれば留学生に文化を聞いたり  　　　ホテルのチェックイン、飛行機の搭乗など実務的な内容をすることで双方にとって良い学びと  なるのではないか。  立石：25年度のカリキュラム内では専門科目を作成できなかったので、実施する授業内でどうにか  　　　実現できるよう検討する。  遠藤様：自身の考え方や発表を行う授業も良いが、ストレスに対する耐性をつけることが出来るような  　　　授業もあると良いと思う。現状だと1昼夜勤務がネックになることが多く、小田急さんでは  　　　親子で1昼夜勤務を体験するようなプログラムもあった。実際に東武でもこのようなプログラム  　　　が可能かどうかは検討が必要である。  立石：以前、学生にも一昼夜勤務を経験させるような行事を組んでみたいと考えたことがあったが様々な理由で断念した。  酒井様：以前からカリキュラムを確認しており、検定に特化した時期から発表や実務に変わった内容が  　　　入っているため、以前と比べてだいぶ良い方に変わっているように感じる。  室田様：他の学科でも行っている授業で良い内容があれば観光科や鉄道科でも取り入れるべきである。  ３．観光・鉄道業界の魅力発信について  　企業連携の実施  　観光→旅行総研様（添乗実務にて講師派遣）  阪急交通社様（観光実務にて講師派遣および本社見学）  H.I.S様 （観光実務にて卒業生派遣、カウンター演習の実施）  　鉄道→千葉都市モノレール様　（車庫見学及び行事において実施）  　 　　　　東武鉄道様　（研修旅行先での下今市車庫見学）  　①実習について  　他科において、業務提携における企業実習を行っており大学などとの差別化を図っているため、  　観光・鉄道分野においても実施していきたい。  <実習についてのご意見>  遠藤様：高校での実施例ではあるが、5日間で南栗橋の基地を使用して授業を実施したことがある。  　　　　1日目は座学含めた見学を行い、２～5日目はそれぞれ各駅において駅業務や案内を教育係と  　　　　一緒に経験してもらう内容であった。  室田様：時間数がどのくらい出来るかは分からないが、各支部での商談会や海外ツアーの説明会などを  開催しており、新たにプログラムを作成すると難しいが現状行っている行事に参加するなら実現  可能ではないか。  立石：現状では阪急様に行って頂いている本社見学などは、学生達の業界視察として良い反応が多い。  武笠様：ホテル分野やテーマパーク分野だと企業との需要と学校での労働力の提供が上手くかみ合って  　　　　いるのかも知れないが、旅行会社で考えた場合には実習として学生にお願いできる内容が少なく  　　　　実習は難しいと感じる。  　②授業について  　<観光>  　座学授業は充実しているが、実務授業が少ないため、企画立案や予約などの一連の業務を「旅行企画」  　を通じて学ぶ機会を作りたい。→毎年、連絡の取れる卒業生がいる企業へ旅行も一括して依頼。  <鉄道>  職員が運輸職種に携わっていたため教えることが出来るが、整備系は知識などがないため授業運営が  　できなかった。→次年度は東急ﾃｸﾉｼｽﾃﾑ様に依頼。  <授業についてのご意見>    武笠様：せっかく名前が「観光科」となっているのであれば、運営は非常に大変ではあるが地方自治体に  おける地域課題の解決や企画立案などを行うのはどうか。学校と観光協会につながりがあれば検討してはどうか。  立石：今回の東急様の様に毎週授業に来てもらうことは可能か。  遠藤様：毎週学校に出向いての授業は正直難しいと感じる。また、設備等が揃っている場所の方が教える  　　　　ことが出来る幅が広がるので、東武だと技術系は南栗橋で夏に実施している会に参加できれば  　　　　いいが、13ｺﾏ分も教える内容があるかが不明である。  立石：内容については、実施可能となった場合に当校と相談しながら決めていくことが出来る。  進行：立石により閉会した。  【分科会】テーマパーク科  進行：石神が分科会を開会。  1.前回の振返り  人材育成に関して  石神  改めて教育という話が出た背景に関して  折原様  ・仕事をきっちり行うことが職業体験テーマパークの醍醐味であり、同業者との差をつける為に再度考え始める。  ・知っている企業で働くことの楽しさや、【優しく】というキーワードをもとに教育という考えに至る。  ・個人に寄り添う時代になり褒めてから話をするという考えになる 。  ・また、コミュニケーションがうまく回るように社員は働きかけている 。  2現在 企業 に 必要なスキル  石神  DX・ITに関しては企業としてどうか  折原様  ・会社内部に関してはPCやタブレットを使用することが多く、仕事として必要な知識が多くなってきてい  る。PCでデータを作り作成したデータをタブレットに送り更にスマホアプリに落とし込むということが一  連の流れとして 出来上がっている 。  3実習 に関して  石神  実習に関して ダンス  折原様  ・ダンスを子どもに教える事を楽しいと感じる人や、ダンス教室で教えている方がカンドゥーでも教えて  いる。  ・１つの場所ではなくアクティビティを複数覚えてもらい働いていることから、実習としても働ける場所が  あるかと思う。  石神  最多の実習生受け入れに関して  折原様  実習生を戦力として考えている所が多い。受け入れ人数が増えることに関して何も問題はない。  長谷川  個として動くことが出来ない学生が増えてきていると感じるが実際はどうか。  折原様  友人同士で面接しに来ることもあり、常に2人一緒に動いている人は仕事になじめなかったりと少し危う  いと思うことがある。  4  授業運営 に関して  長谷川  回転率や人数計算など在学中から多くのスキルを持ち合わせる必要があるのか。  折原様  実際に働いているスタッフに意見を聞いて反映していこうという事が多くあるためどうすればという考え  を持てるようにという授業内容があればいと思う。その中で考える事が出来るということはいいことだと感  じる 。  進行：石神により閉会した。  【分科会】ホテル科・ブライダル科・デュアル科  進行：小川が分科会を開会。  1.2024年度振り返り  2024年度カリキュラムの現状報告と2025年度カリキュラムについて  ＜ホテル科＞　大久保  　【授業科目】  　・25年度よりホテルマネージメントシステム導入    【検定】  　・HRS検定40名中/19名合格：47％と大きく合格率を下げてしまった。  ※来年度は受験必須。卒業条件としてHRS検定合格もしくは、校内審査で合格を加える。  塚本：ブライダル科  【授業科目】  　　・2025年度カリキュラム導入科目：社会人教養、SNSマーケティング、ブライダルネイル(BSコースのみ)  　　・「イベントプロモーション」  1年生：2月/ブライダル見学会(アマンダンセイル)  高校生を招いて、模擬挙式＆披露宴を実施。(45名予約/42名参加)  それぞれの役割を担い、学んだ成果を高校生に披露できた。  高校生の満足度が高く、次回以降のリピートにつながっている。  2年生：1月/リアルウエディング(アニヴェルセル柏)  　　　　　 企業連携により外部会場にて初めての実施。  　　　　　　100名を超える参列の結婚式で、時間はおしてしまったが、大きな事故やトラブルなく、  　　　　　　お客様にお喜びいただけたことが、学生の達成感・満足感につながった。  　【研修/行事】  ・11月/リゾートウエディング視察（軽井沢方面/1年1泊2日・2年2泊3日）  ホテルウエディング・ゲストハウスそれぞれの会場見学と講話、またリゾートウエディングならではの  お話を聞くことができた。  【実習】  　・2025年度より、1年生後期の土日にブライダル企業での企業実習を実施予定。(授業は週4日制)  　　2024年度は、ホテルorブライダル企業の選択制で実施を試みた。  (ホテル26名､ブライダル28名)  【検定】  　 ・11月/色彩検定　53名受検/40名合格　合格率75.5%（前年度：71.4%）  　 ・ライフケアカラー検定（インテリア）　23名受検/23名合格　合格率100%（前年度：68.9％）  　 ・パーソナルカラー検定2級　8名受検/8名合格　合格率100％（前年度：84.2%）  　 ・BC技能検定3級　53名受検/４０名合格　合格率７４％（前年度：84.2%）　\*2/26合否発表  　　　　　　　　　　　　　　　(1名は実技のみ受検/)  　 　　※2級(学科)　1名受検/1名合格  栁堀：夜間部ホテル・ブライダル科  　【授業科目】  2025年度2年次より90分授業への対応となるため、科目の選択は廃止、ホテル科・ブライダル科の選択となる。入学生40代男性の入学有  【検定】  ・HRS検定：11名中7名　63.6％（前年度50％）前年度より受験者数、合格率UP  ・ドレスコーディネーター検定　5名受検/5名合格　合格率100%（前年度：受験者なし）  ・BC検定　5名受験/合格　　合格率　　昨年度未受験者、不合格者も受験者を増やすことができた  ・手話検定　5級3名受験/3名合格　4級3名受験/2名合格　合格率83.3％（前年5級5名受験）  昨年度より高い級の受験を行い、合格率も高い結果となった。  ※昨年度の検定実施では、意欲的に資格取得を目指す学生が多く見られました。そのため、後期も積極的に検定受験を促進し、限定された検定に留まらず、幅広い資格取得の機会を提供することができました。その結果、昨年度よりも多様な検定に挑戦する学生が増加し、学びへの意欲がさらに高まったことがうかがえます。  一方で、1年生の検定取得に対する姿勢にはやや消極的な傾向が見られました。これを踏まえ、2年次への進級後も受験を促進し、学生の資格取得を支援していくことが重要です。今後も積極的な周知活動や学習サポートを行い、さらなる検定取得の推進に努めていきます。  【実習】  1部の学生が1年間意欲喪失の為、アルバイト継続に断念。現在7名アルバイト紹介制度を使用し業界へ従事  2025年度入学者もこれから入学後のアルバイト紹介制度の利用についてアンケートの実施。  大久保　AIK獣医師会を行内でケータリング150名のサービスに積極的に参加する学生を増やすことができた。　HRSの検定合格率が下がってしまったことがあり、来年度の受験は必須受験を行い、不合格でも卒業試験を行いスキルアップを目指す。  【その他】  風間氏　昼間部ハーフ時間として運営　1限・2限授業を行い夕方から業界で勤務をすることなどをして継続ができないのか検討してみては。  佐々木氏　この業界で年齢層高い方の学びなおしの需要はあるのではないかと考えられる。  風間氏　　若い世代優しくおとなしくいい子となってしまっている印象があるが、学生はどうか。  大久保　 引っ張っていく学生が数名在籍　消極的な学生に声をかけてクラス運営を盛り上げられた  　　　　　 1年生は対照的ではあるが、引っ張っていく学生はいないが全員が優等生気質ではある。  風間氏　 行事　スポーツ大会消極的に参加する学生の状況どうか  大久保　　1年生は全力で取り組む学生が多い  風間氏　そういった学校行事に対しても消極的であってはどうなのかと思っていましたが、安心  佐々木氏　通信高校の学生が多いがホスピタリティー能力は低いのでは？  大久保　　近年では通信高校に通っている学生でもリーダーを行ったりすることはあるが、周りのサポートもあるので問題はない  風間氏　卒業してすぐにプランナーになることは避けていたが、新卒プランナーで志があり仕事のモチベーションが高く従事している。ですが、トーク技術で話の広げ方などを学生時代に身に着けられると、殻を破りお客様への接客が変わるのでは。  牧野氏　会話力を上げることによって、客室へご案内する際ゲスト満足度を上げられるチャンスですが、その力がないとお客様と会話を広げることができない。会話力は圧倒的に昔の時代より下がってきている。マンツーマンで話す（プランナーやベルマン等）仕事をする人は会話力を必要とされている現状  牧野氏　SNSマーケティングとはどのような授業なのか  塚本　　ターゲットに対して、どのように発信すると効果が出るのかを実際にSNSの活用運営をする授業  牧野氏　SNSのモラルを徹底的に教えてほしい　発信したものがどのように影響を及ぼすのかを想像することを出来るようにしてほしい。どういうことをするといけないのかを知っておいてほしい。  佐々木氏　企業によってスタンスが違う　社員が発信を推奨している所もあれば、発信はNGの所もある  2. 就職活動状況について  　小川：就職  　　　２０２５年卒　（2月末現在）  　　・ホテル科　　　　　50名在籍中　50名内定　内定率　100.0%  　　・ブライダル科　　54名在籍中　52名内定　内定率　96.3％  　　・夜間部 18名在籍中　16名内定　内定率　88.9％    就職行事・・・10月・12月・2月と3回開催、保護者会2月に開催。  　　　　　　　　　26卒向けホテル合同説明会、ブライダル合同説明会2月に参加  　　　　　　　　　　　　S求人（学校推薦制度）について  進行小川により閉会  【分科会】エアライン科  進行：桒原が分科会を開会。  進行：桒原により開会。  1．2024年度振り返り　＜桒原＞  ・2024年度の学生・クラス・カリキュラム等について  【検定・資格取得情報】  ・ユニバーサルマナー検定２級　受験者：１2名　合格者：12名（100％）  ・ディプロマ試験　受験者：1名　 合格者：1名（100％）  ・AMADEUS　　受験者：12名　合格者11名（92％）  ・TOEIC　平均81点UP（１年生４月から2025年１月までのスコア平均）  【行事】  ・Airport　Study企業訪問　（8月/１２月/2月）  ・カナダ海外研修旅行（９月）  ・スピーチコンテスト（１月）  ・AAセミナー（１月）  予定していた行事は全て実施できた  2.2025年度エアライン科について　＜桒原＞  【在籍数】  ・1年生　11名　日本国籍：7名/フィリピン国籍3名/ネパール国籍：1名  キャビンアテンダントコース　6名（男性3名/女性3名）  エアポートコース　 　　　　　　5名（男性1名/女性4名）  　・2年生　11名　キャビンアテンダントコース　1名：4月よりオーストラリア留学）  　　　　　　　　　　（2026卒就職活動状況　内定者：5名　\*2月22日現在）  【コース・カリキュラム】  　・2024年度と同様に２コース（キャビン・エアポート）運営  90分授業実施に際し、カリキュラムの選定を行った。  2025年度の運営を行いながら、来年度以降の共通・専門科目を検討。  【検定/行事】  ・前年度を踏襲  TOEIC試験回数　４回　⇒　５回へ変更  海外研修旅行：オーストラリアを予定（8月30日～9月7日）  【募集】  　・空港見学会（成田・羽田）を実施  　・企業コラボは実施できなかったが、卒業生を迎えたOC等を実施  　・SNSを使用した募集活動  【その他】  湊　　　：25年度より新たな科目として「卒業制作」を実施。  イレギュラー対応等をケーススタディー形式で指導し、最終的に学生が台本から動作までを作成した内容を企業様に参加頂きながら実演することを想定。（CSコンテスト）  早期実習により発表時に学生が残っているかが懸念事項となっているため、実施時期を検討中。  湊　　　：インバウンド業務について、学生が実習を行えるパート（業務）はあるか。  鈴木様：インバウンドのお出迎え・旅程ご案内業務（セミセルフガイド業務）については実習が可能ではない  かと思う。  湊　　　：日本語手話を受験する学生が多くいるが、インフォメーションで取得する手話も日本語手話か。  長森様：弊社で取得推奨しているのも日本語手話で、ある程度海外の方にも通じているように見受けられ  る。職員のモチベーション向上の狙いもあり、3級・4級の取得を促す予定。  湊　　　：グランドスタッフの募集が減少していく傾向にある。  松井様：機械化の推進、離職率の減少により、各企業ともにグランドスタッフの採用人数は減少傾向にある。  桒原 ：インフォメーション業務について機械化となった業務はあるか。  長森様：お客様がカウンターに来なくてもインフォメーションを受けられるシステム（QRコード取得）はあるが、成田空港の通信状況が不安定であるため、現状は対面で説明することが多い。  湊　　　：2年次の120時間実習のご協力について。  松井様：現在、他専門学校からインターンシップ受け入れを実施。期間終了後、継続の意思があればアルバイトとして雇用しているおり、同様の受け入れであれば可能  進行：桒原にて閉会 | | | | | | |